

送迎バス発着所が変わりました



今後は大久保病院玄関前(敷地内)より発着いたします。ご利用される際にはお気を付けください。

大久保病院 専用駐車場の のご案内

駐車場が分かりにくいとの
ご意見をいただきましたので、
右図をご参考にしてください。



交通機関をご利用の方

- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩15分
- 「大久保」駅北口より神姫バス
②のりば 19「山手台」行き
③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、東へ徒歩5分

車をご利用の方

- 第二神明道路「大久保IC」より、大久保方面へ約10分

特定医療法人 誠仁会
大久保病院

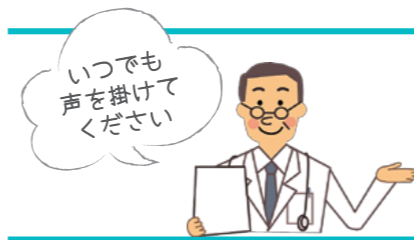
〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1
tel. (078) 935-2563
<http://www.seiinkai.or.jp/okubo/index.html>

特定医療法人誠仁会

大久保病院だより

No.
29
平成30年
5月18日

編集・発行 | 特定医療法人誠仁会 大久保病院 地域医療連携室 ● 明石市大久保町大窪2095-1 TEL078(935)2680 FAX078(935)2684



ようこそ大久保病院へ 新任医師紹介

外科 塚本 潔



本年4月より外科に着任しました塚本と申します。私は平成10年に兵庫医科大学を卒業し、関連病院での研修後、平成17年から約2年間アメリカDUKE大学外科へ研究留学しました。平成19年から兵庫医科大学へ戻り、本年3月まで下部消化管外科講師として勤務し現在に至ります。大学では主に大腸癌を専門とし、とくに現在普及しつつある腹腔鏡手術の診療・研究・若手医師の手術指導などを行ってきました。当院でも本年度より腹腔鏡手術を導入し、

大腸癌・胃癌などの手術からヘルニア・虫垂炎・胆石などの良性疾患に対しても、大病院にも劣らない質の高い医療を提供できるようにしていきたいと考えております。その他、痔・外傷・皮下腫瘍・巻き爪にいたるまで外科疾患でお困りのことがありましたら、なんでもご相談いただければと思います。

循環器内科 佳山 智生



で勤務してきました。

はじめまして、循環器内科に常勤医師として勤務することになりました佳山智生です。平成17年に浜松医科大学を卒業後、京都、大阪、神戸

最近血圧が高い、動悸がする、動いている時に胸が苦しくなる、息切れがする、歩くと足が痛くなり止まると治まる、健診で心電図やコレステロール値の異常を指摘された、タバコを吸っており健康が気になるという方はお気軽にご相談ください。

消化器内科 森下 大輔



4月より消化器内科で勤務させていただいております。森下大輔と申します。趣味はサッカーですが、大学時代はゴルフ部に所属しておりました。平成26年に兵庫医科大学を卒業し、臨床研修修了後に、消化器内科へ入局し、今年で3年目となります。1年目は大学病院で消化器内科を中心に学び、2年目は市中病院で一般内科を広く診療してまいりました。胸やけがする、胃の調子が悪い、お通じが出にくい

等の消化器症状でお困りの方、その他、内科全般でお困りのことがございましたら、お気軽にご相談いただければ幸いです。胃カメラや大腸カメラをご希望の方も早急に対応いたします。精一杯診療いたしますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



緩和ケアってなに? ～学習会を開催しました～



「そもそも緩和ケア病棟ってなに?」「ここに来たら終わりでしょう?」など、緩和ケア病棟にこのようなイメージを持たれている方がたくさんいらっしゃいます。また、自分の死と直面しなければならないことや、痛みや苦しみにどう立ち向かうのかなど、経験したことのないものへ対する大きな不安は誰もが抱えることです。そこで当院では2月24日(土)、市民の方を対象に緩和ケア病棟についての学習会を開催しました。

①緩和ケア病棟の紹介

・その人らしく生きることを大切にした日常ケアについて

②食事について

・食べたい物を食べたいときに食べられるだけ
・補助食品の試食

③代替療法として

・香りとうマッサージ効果について

この3項目について、看護師・栄養士・アロマセラピストとそれぞれの専門職の立場から講義を行いました。



癒しのグリーンの壁面



管理栄養士の栄養相談

後半は3つのブースに分かれ、栄養相談やアロママッサージの体験、ソーシャルワーカーと看護師が担当する「なんでも相談コーナー」などの時間を持つことができました。

学習会後に寄せられた感想では、ほとんどの方が緩和ケア病棟についてのイメージが変わり、中でも「死ぬ場所ではなく、最後の瞬間まで生きる場所」というスライドに共感され、「自分も最期はこんな所で過ごしたい」とのお言葉もいただきました。

食事・お風呂・睡眠・排泄などのケアサービスはもちろん、痛みがあるとき、息苦しいとき、体がだるく重いときなど、どのように緩和医療を行っていくのか、どのようなことを希望されるのか、細かい部分まで患者様・ご家族と話し合い、その人らしく過ごせるようお手伝いさせていただきます。お悩みや不安な点は、なんでもお気軽にご相談ください。(緩和ケア病棟スタッフ一同)



緩和ケア病棟ラウンジ



アロマ体験



緩和ケア病棟クリスマス会

新入職者紹介



春爛漫、桜吹雪の中、今年度は理学療法士、薬剤師、臨床検査技師、臨床放射線科技師、看護師と22名の新入職者を迎えました。

これまでの経験を生かしながら、この大久保病院でまた違った経験を自分のものにしていこうという思いや、経験はないけれど学校で学んだ知識や技術を存分に発揮し、早く一人前になりたいという思いが体中からあふれています。それぞれのキラッとした表情から、新たな自分自身との誓いと共にこれから向かう仕事への意気込みが感じられます。

これから地域の皆さまとの交流を通して成長していく新入職者たちをよろしくお祈りします。一日も



早く一人ひとりが病院の顔となれるよう、私たちが応援していきます。

Post introduction

部署紹介

透析室



当院の透析センターはベッド数34床を有し、約70名の透析患者様の治療や透析がスムーズに行われるように、腎臓内科・透析専門医の山本聡医師、樋木聡医師が中心となり、臨床工学技士4名と看護師7名が連携して治療にあたっています。

日頃より患者様が安心して安全に治療が受けられるように、日々、知識と技術の向上に努め、質の高い透析治療の提供を目指しています。透析治療は日常生活の一部となるので、きめ細やかな対応を心がけています。



血液透析では、1回の透析に1人あたり120~150Lの透析液が必要です。

透析治療において、透析液の清浄度で

第1透析室



山本聡 医師

樋木聡 医師

予後や合併症に違いが出ます。当院ではきれいな透析液を作成するため、臨床工学技士が徹底した水質管理を行い、透析医学会の最高基準を満たしています。

また、透析効率評価、血液検査データの管理、透析機器はもちろん院内の呼吸器や輸液ポンプ等の日常点検・定期点検、部品交換や修理も必要に応じて行うなど機器管理を徹底しています。

看護師はより良い透析治療を行うために、ご家族・施設の方やケアプランナーとの連携に努めています。

近年、透析患者様の足病変は非常に増加しており、足病変からのADL(日常生活動作)低下予防のため、毎月フットケアチェックを行っています。透析センターでは透析治療を通し、QOL(生活の質)の維持に貢献できるよう努めています。

いつもありがとうございます

行事を支えるボランティアさん

緩和ケア病棟のイベント行事は、ボランティアさんにご協力いただいています。今回は、コープボランティアの「喫茶さつき」さんグループを中心に、いつもご参加いただいている皆さまをご紹介します。

14名のボランティアさんが登録され、第1・第4水曜日に3名ずつ交代で患者さんにお茶のサービスをしていただいています。



この日はお好み焼きを作り、一口大にしておやつに添えられました。また同じ時間に、ご夫婦でレコードを流してくださるボランティアさんも

来られました。お茶のサービスの合間には、傾聴ボランティアの方が患者さんのお隣で静かに話を聞かれています。

これまで約5年間、継続してお越しいただいています。ボランティアの皆さまに感謝です。

